

当院ではバイオ後続医薬品の 使用を推進しています

当院ではバイオ後続医薬品が存在する医薬品について、安全に使用できるかを確認したうえで採用を検討し、積極的に使用ができるよう体制を整えています。



バイオ医薬品とは

遺伝子組換え技術や細胞培養技術等を応用し、生物が持つタンパク質（ホルモン、酵素、抗体等）を作る力を利用して製造される医薬品です。



バイオ後続医薬品とは



先行して販売された「バイオ医薬品」と同等の品質・安全性・有効性を持つ医薬品です。

薬価は原則として先行バイオ医薬品の70%に設定されるため、医薬品費の削減につなげることが出来ます。

当院での採用薬選定

当院ではバイオ後続医薬品を採用するにあたり、以下の点に留意しながら検討を進めています。

1. 医薬品の品質（原薬・添加物のデータなど）が先発医薬品と同等であること
2. 適応疾患、用法用量、規格が先発医薬品と同一であること
3. 製造販売企業の供給体制が安定していること
4. 製造販売企業が副作用などの情報を的確に速やかに提供できる体制であること

お薬についてご不明な点等ございましたら、医師や薬剤師にご相談ください。

病院長

薬剤部資料作成

最終更新日：2026年1月27日